

経済学概論Ⅰ

科目ナンバリング EDE-101
選択必修 2単位

後藤 玲子

1. 授業の概要(ねらい)

経済学の基礎となる思想と哲学について学びます。大きなテーマを「価格メカニズムの利点と限界、公共政策の出動要請の理由とタイミング」とします。より具体的には、(1)新古典派経済学の分析ツール(一般均衡・ゲーム理論・社会的選択理論)のエッセンスを伝えます。(2)経済学的思考のポイントを理解するために、学説史や関連する文献を広く紹介します。

2. 授業の到達目標

経済的なものの見方・考え方の到達点と限界をおおまかに理解すること。授業では、現実の経済問題の背景的な論理(からくり)&倫理(規範)を読み解く手がかりとして、経済モデルを使います。その際に、(数式は最小限に抑え)問題の構造をシンプルな図を使って説明します。

(1)経済モデルに慣れること。(2)授業のノートをしっかりとれること。

3. 成績評価の方法および基準

期末試験・ノート(授業の内容を各人ノートしてください。ときどき集めて見ます)

4. 教科書・参考文献

教科書

ときどき古典の原典の抜粋などの資料をLMS(オンライン)上で紹介します。

参考文献

後藤玲子 福祉の経済哲学 ミネルヴァ書房

5. 準備学修の内容

6. その他履修上の注意事項

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション:授業の目標・進め方など。
- 【第2回】 基礎概念:価値と価格
- 【第3回】 基礎概念:選好と効用
- 【第4回】 基礎概念:予算制約と効用関数
- 【第5回】 基礎概念:制約付き最適化行動
- 【第6回】 基礎概念:エッジワース・ボックス
- 【第7回】 アダム・スミスの「同感」(共感)と「不偏的観察者」
- 【第8回】 アダム・スミスの「見えざる手」と「生産者の倫理」
- 【第9回】 アダム・スミスの賃金→リカードの「比較優位説」
- 【第10回】 リカードの「比較優位説」つづき
- 【第11回】 ロックの労働価値説、マルクスの「必要に応ずる分配」
- 【第12回】 ベンサム「最大多数の最大幸福」:功利主義
- 【第13回】 ロールズ格差原理
- 【第14回】 功利主義対格差原理
- 【第15回】 総括・質疑・ディスカッション